

令和6年6月26日

備前東地区総体表彰式

県大会出場のみなさんおめでとうございます。

体育会で古賀稔彦選手の話をしてしましたが、みなさんは古賀稔彦がどんな人か知っていますか。

1992年に行われた、バルセロナオリンピックで、金メダルを取った人ですが、それにはこんなドラマがありました。

柔道の試合の11日前にバルセロナに入り、練習中同じオリンピックに出場する吉田秀彦選手との練習中、全治1ヶ月半の大けがをします。古賀選手は、11日間練習もできず、調整すらできませんでしたが、その間、こんな状態でも勝つ方法はあるはずと、たくさんの人やお医者さんと話をし、痛み止めを6本も打ちながらオリンピックに出場します。

そして、自分より先に試合がある吉田選手に、「俺、優勝するから。お前も金メダル取れ」と声をかけたそうです。吉田は、オリンピックでオール1本がちで金メダルを取ります。自分がけがをさせた古賀選手の分までがんばったんだと思います。

その後、古賀選手も最後まであきらめず、最後はなんとか判定勝ちで金メダルを取りました。決勝戦では、技をかけられないくらい痛みがすごかったと言われていています。古賀も、自分にけがをさせてしまったと心配している、吉田の分までがんばったんだと思います。さて、ここに居るみなさんをお願いします。今回県大会を逃した人達、自分たちの目標が果たせなかった分、邑久中学校の選手のみんなをしっかりと応援しましょう。

県大会に出場するみなさん、君たちは、備前東地区17校の代表として、自分たちに負けた選手の分まで最後まであきらめない姿勢でがんばってほしいと思います。

そして、そのあきらめない姿と、謙虚な気持ちで、みんなから応援されるチームとしてがんばってきてほしいと思います。